



花陰

成人向
For Adult Only



その事実を知るのは
王とその母と
ごく数人の者達のみ

よくお休みに
なられていますね

ほんとうに

向様
あとは私どもが

あはい

それじゃあ
麗のこと
よろしくお願
い
しますね

かしこまり
ました

パツ!

浮かない顔を
しているな

は、

ここのところ
ずっとだ

いっいえ
そんなこと
は…

母に言ったことを
気にしているのか？

隠すな

は…
はい…

気にならない
と言えば嘘に
なります

……私のような
者が……本当に

大変おこがましい
ことを言いました

……けれど
それでも私は
あの方の言葉が
許せなかった

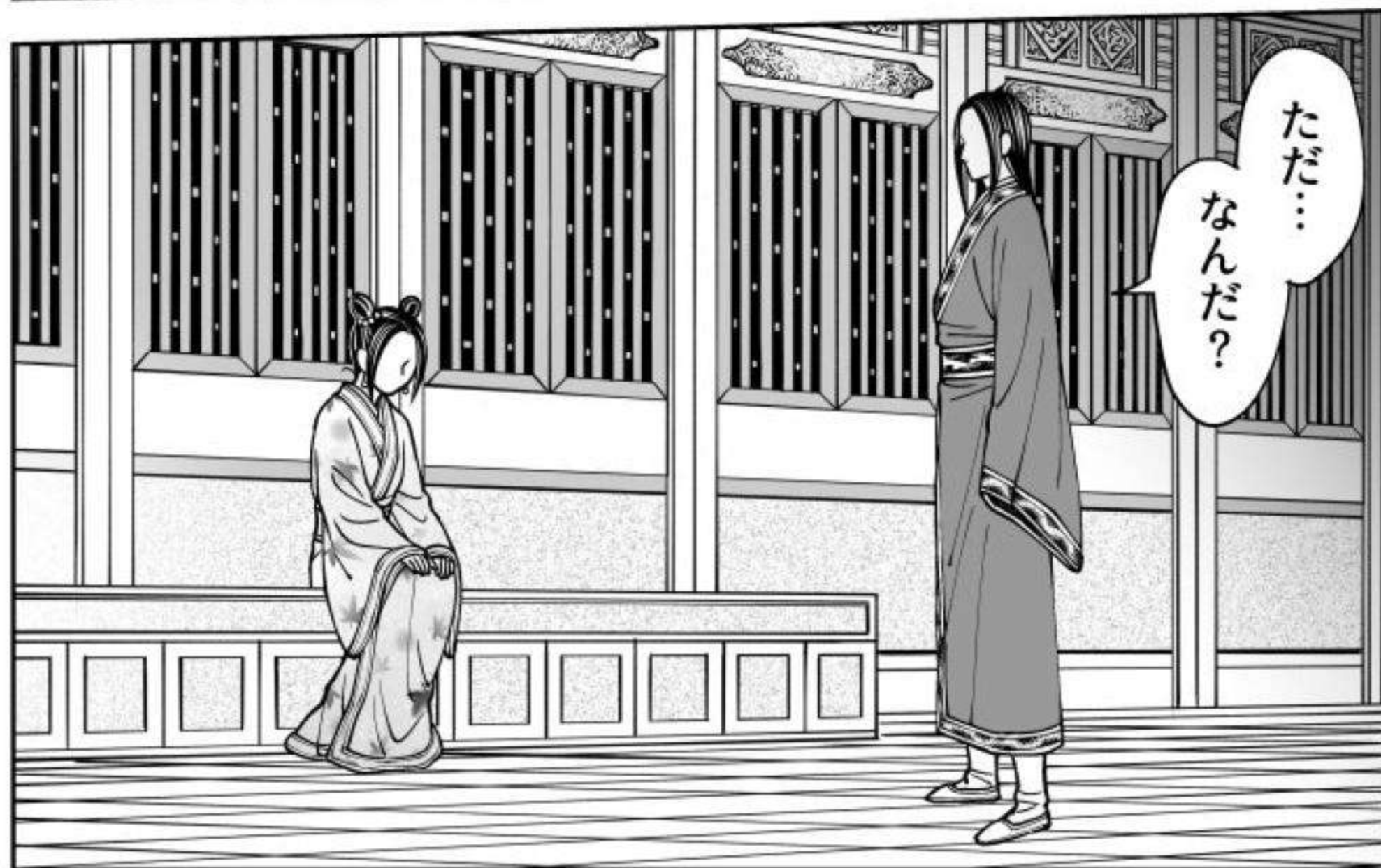
だから
撤回は

しません

ただ……

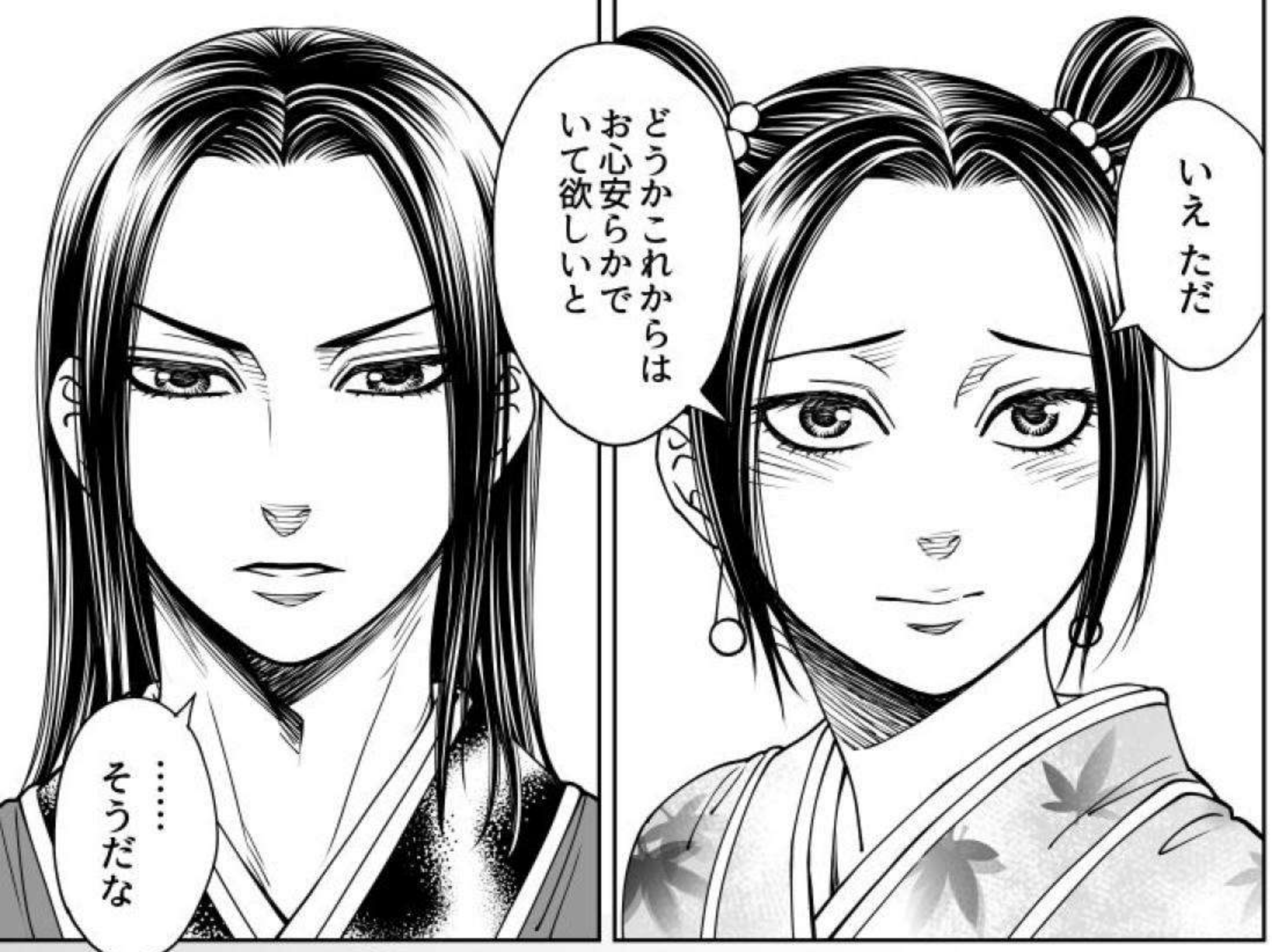


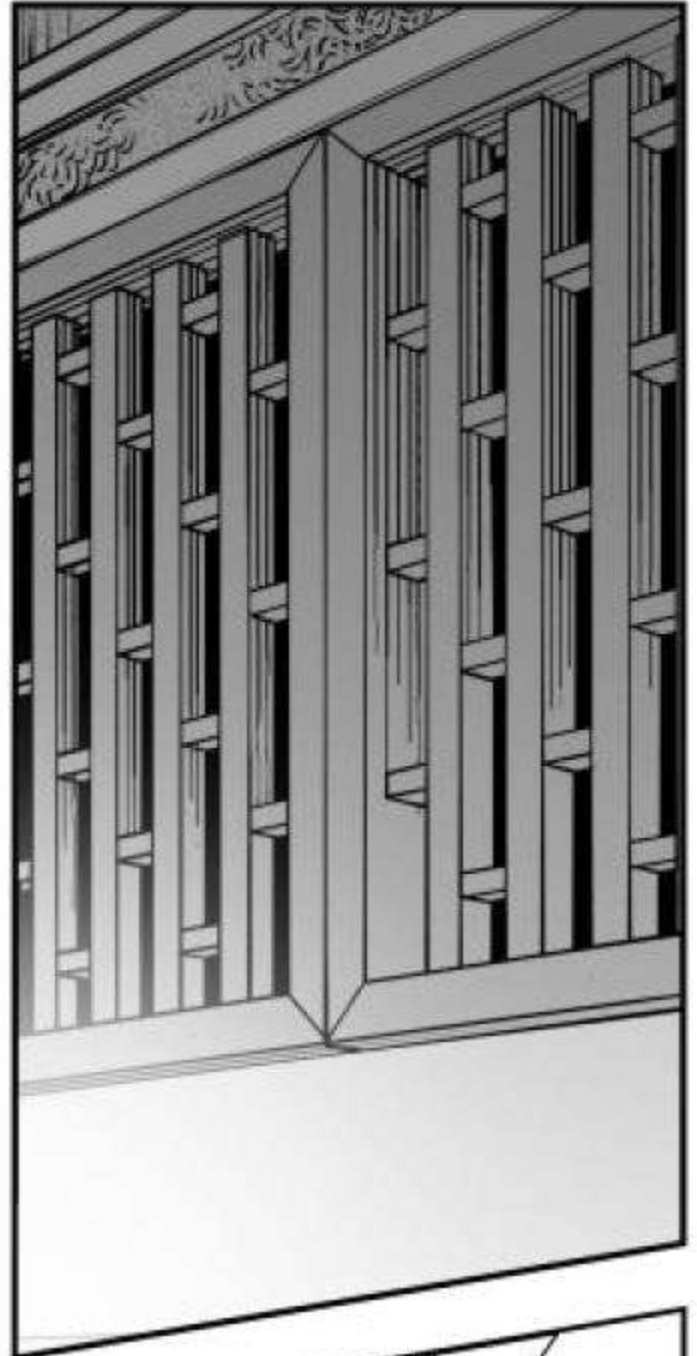
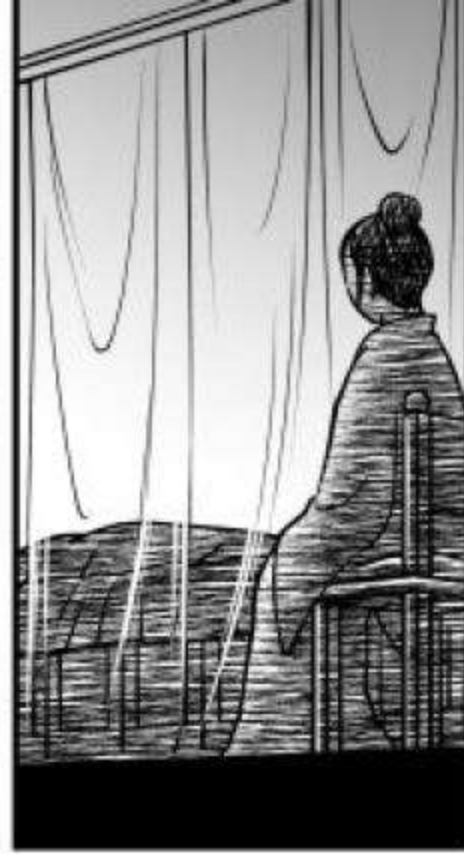
ただ……
なんだ？



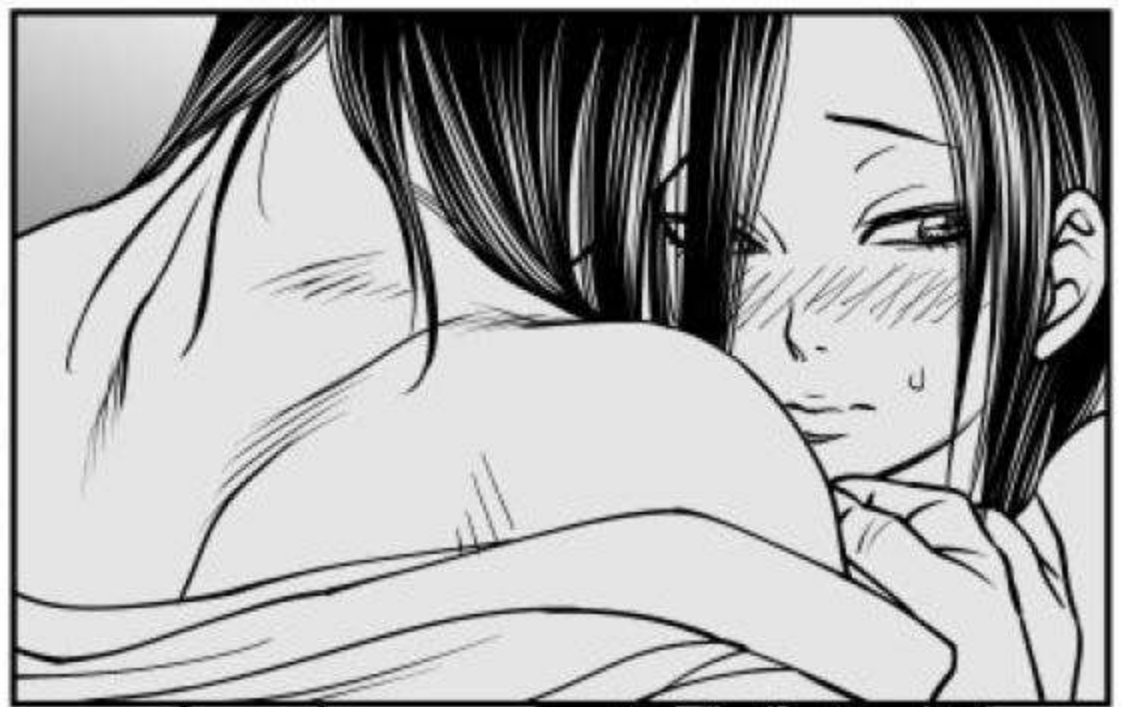
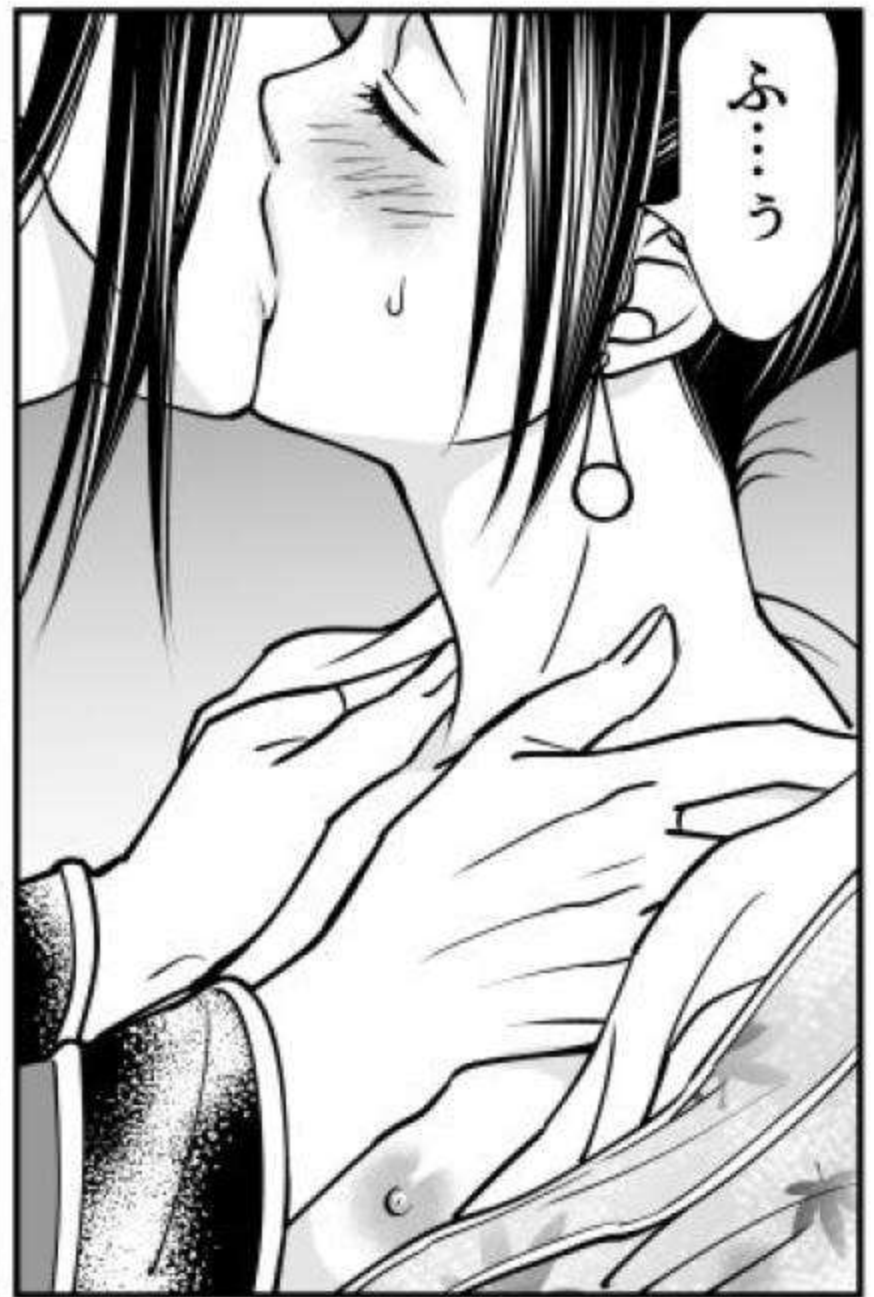
あ……

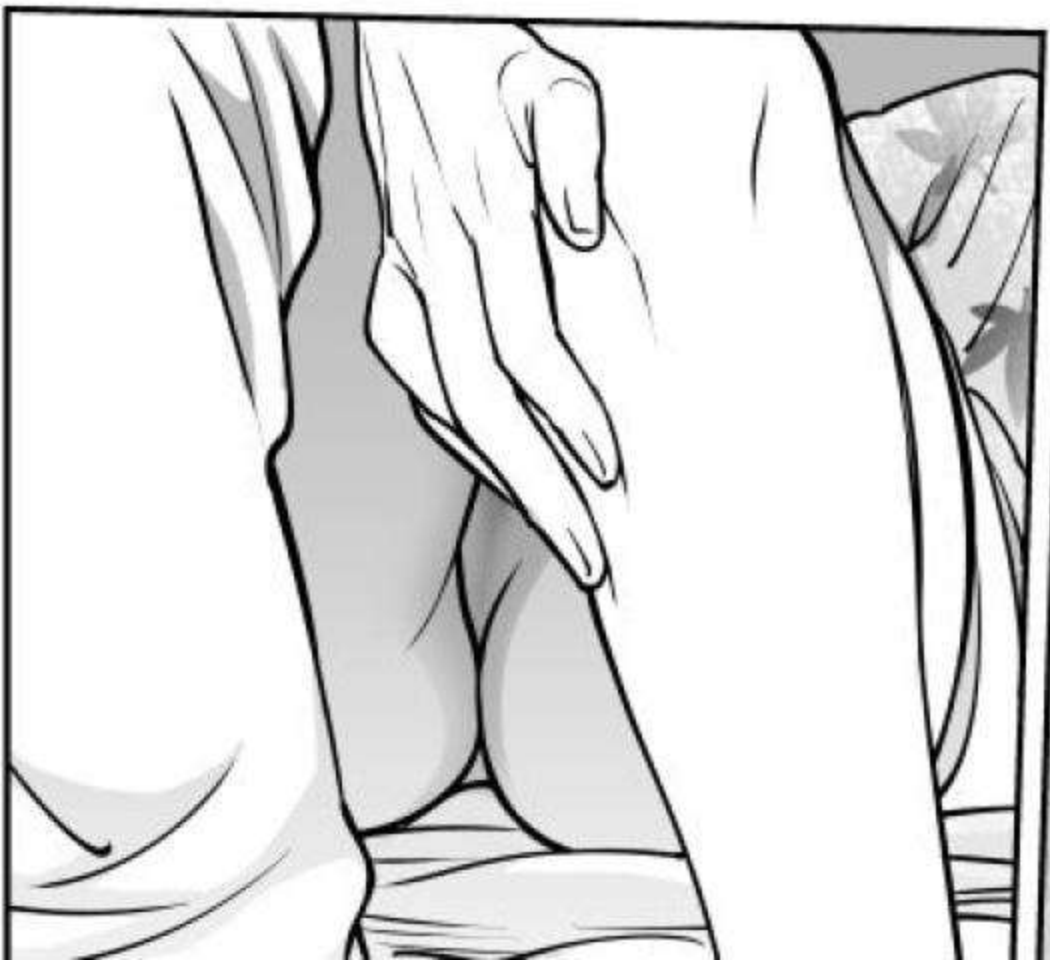


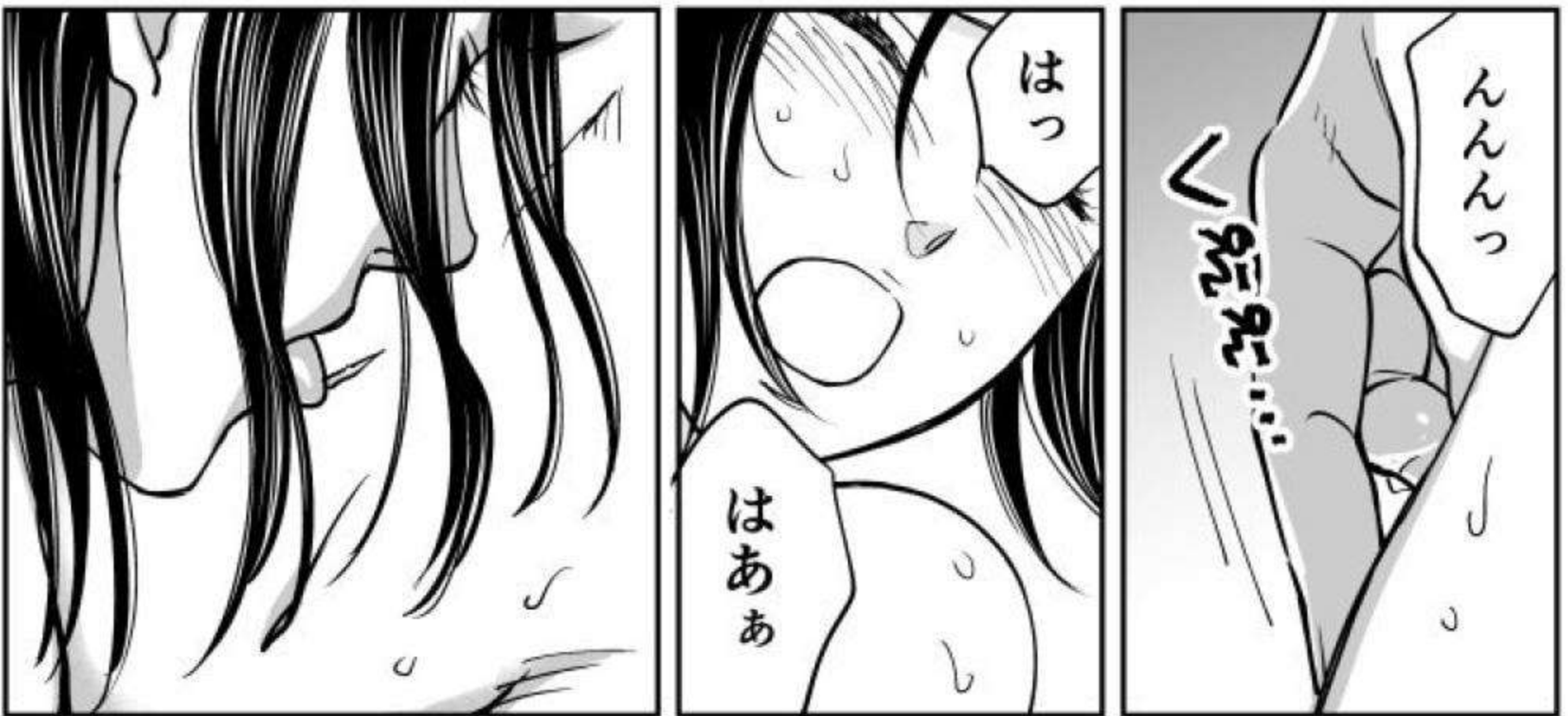
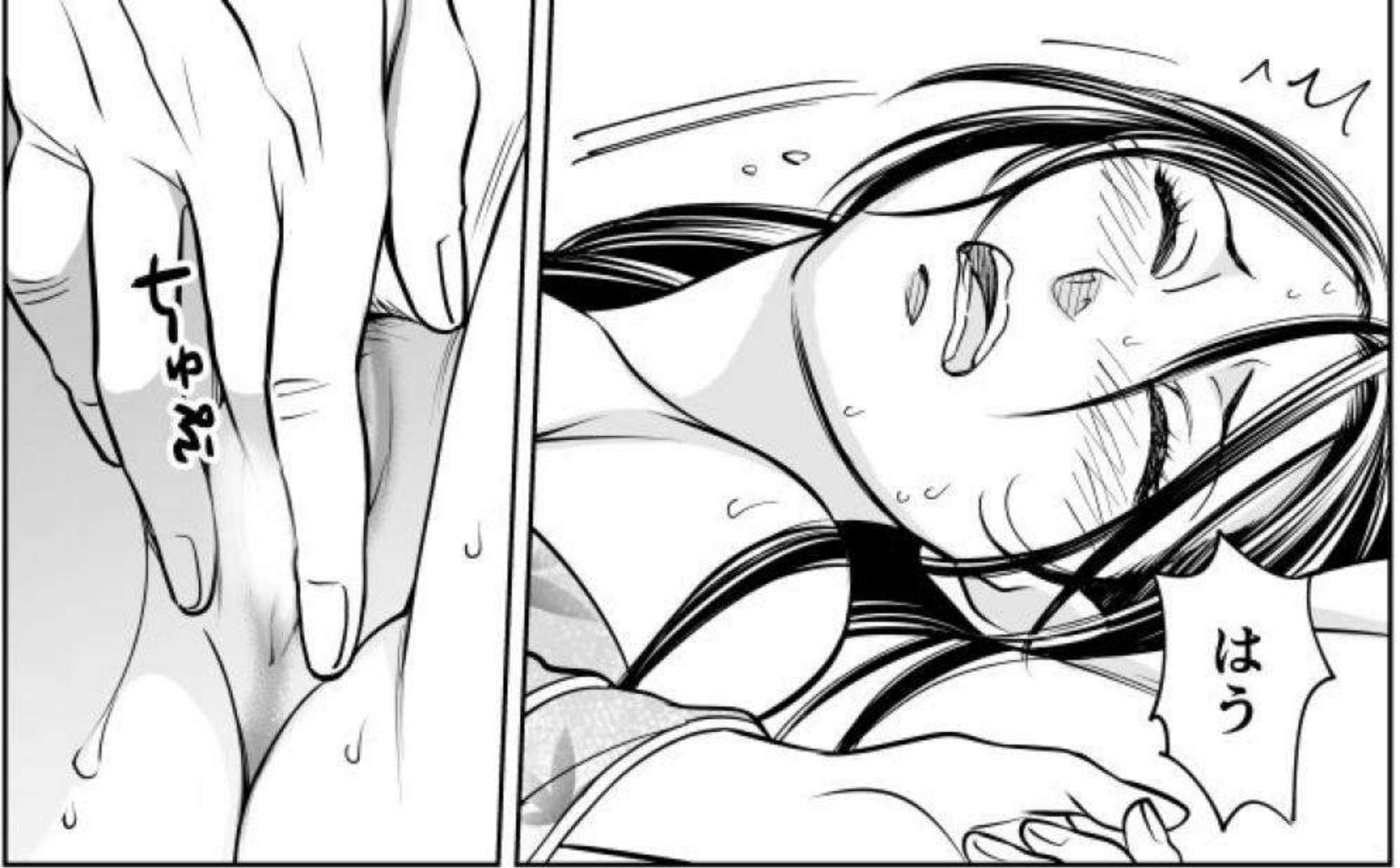




は
ん…













向…

憐れみを
傲慢だと
思うことも

幸福を疚しく
思うことも
止めはせぬ

だが俺の前で
感情を殺すな

でも

大王様は耐えて
らっしゃるのに

太后様のこと
…弟君達のこと

お辛い決断を
されたのは
大王様です

なのに
私がこんな
…

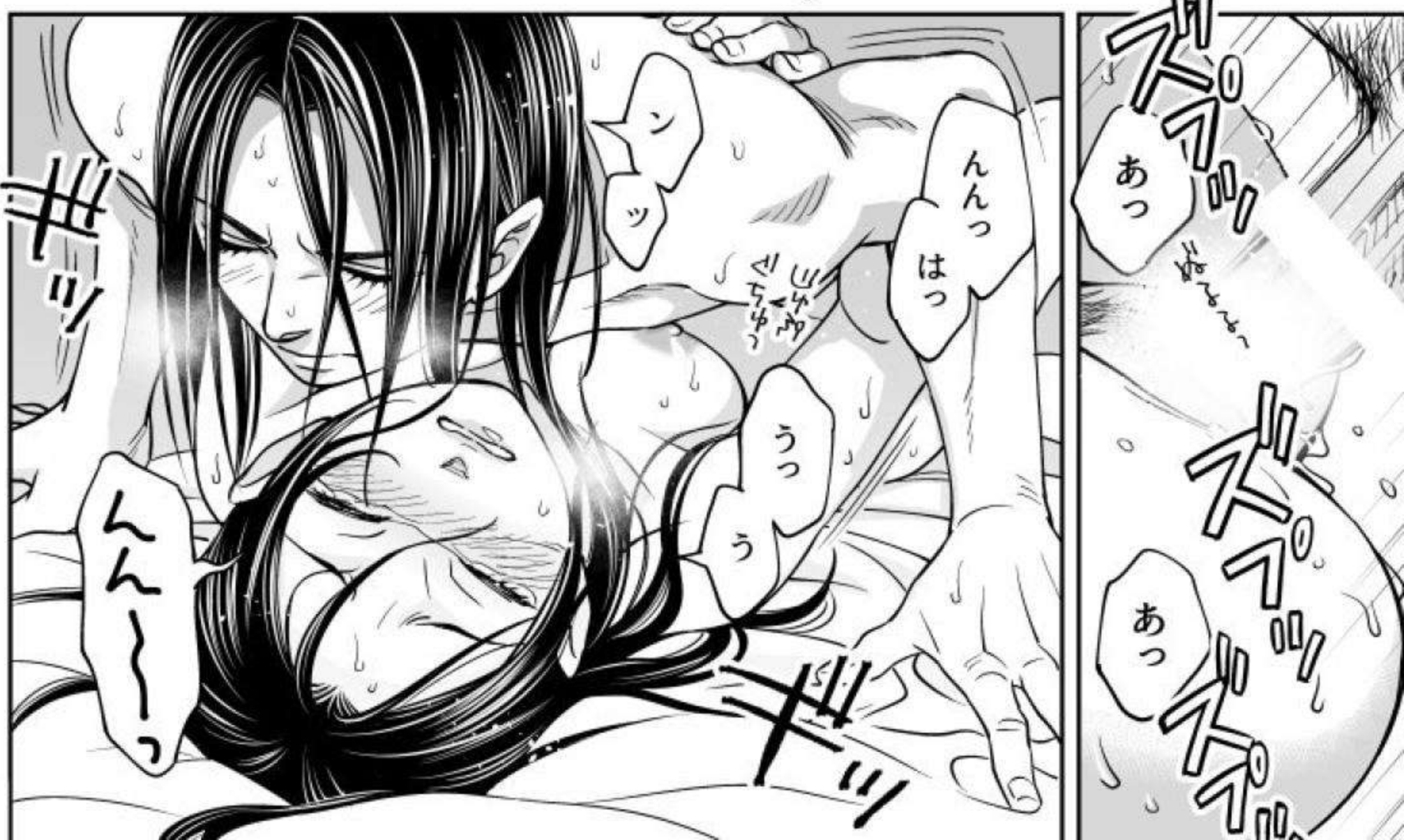
俺はいい

向

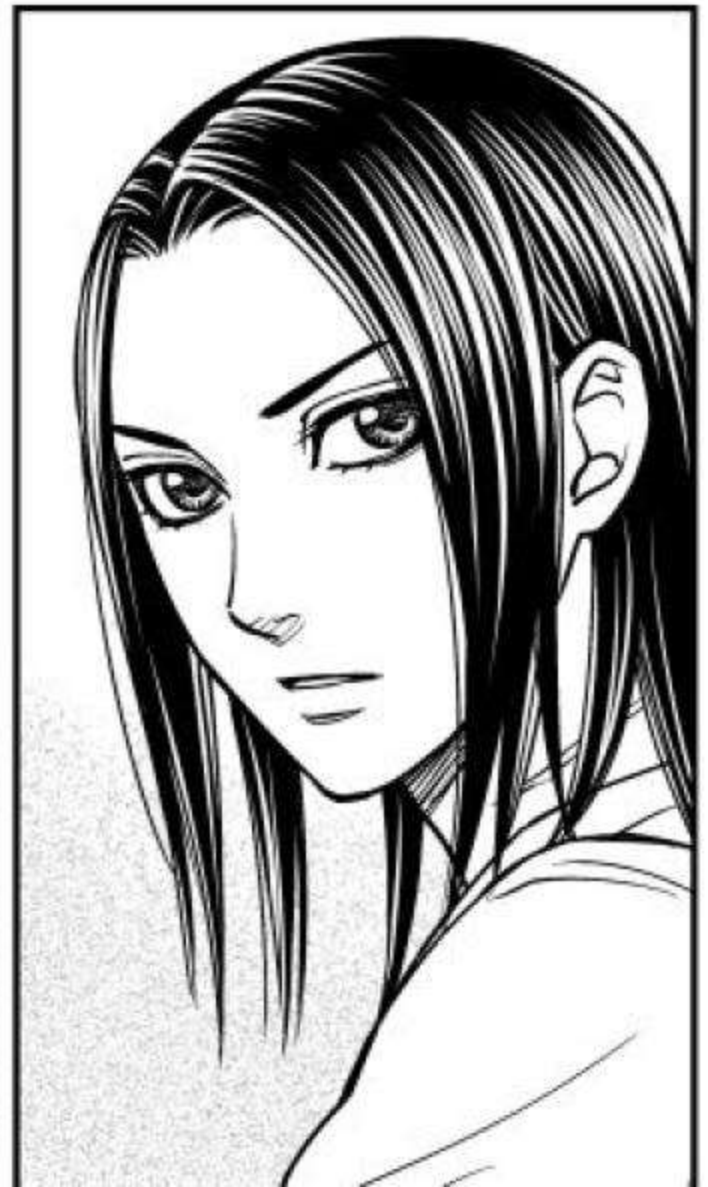
俺の心は
そうやって
お前が拾い
上げてくれた

だからいい

全てを言わぬ
俺を許せ

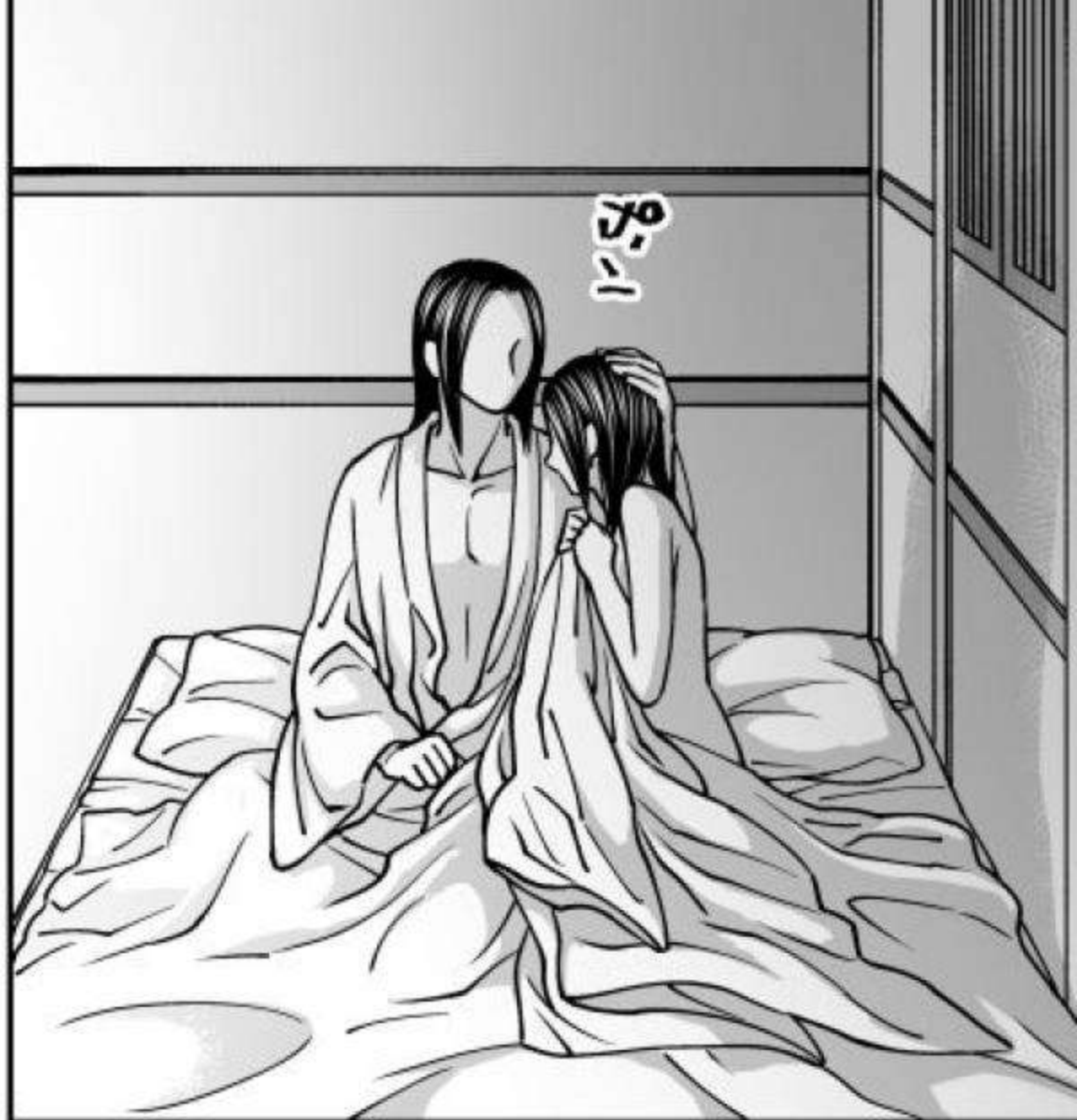




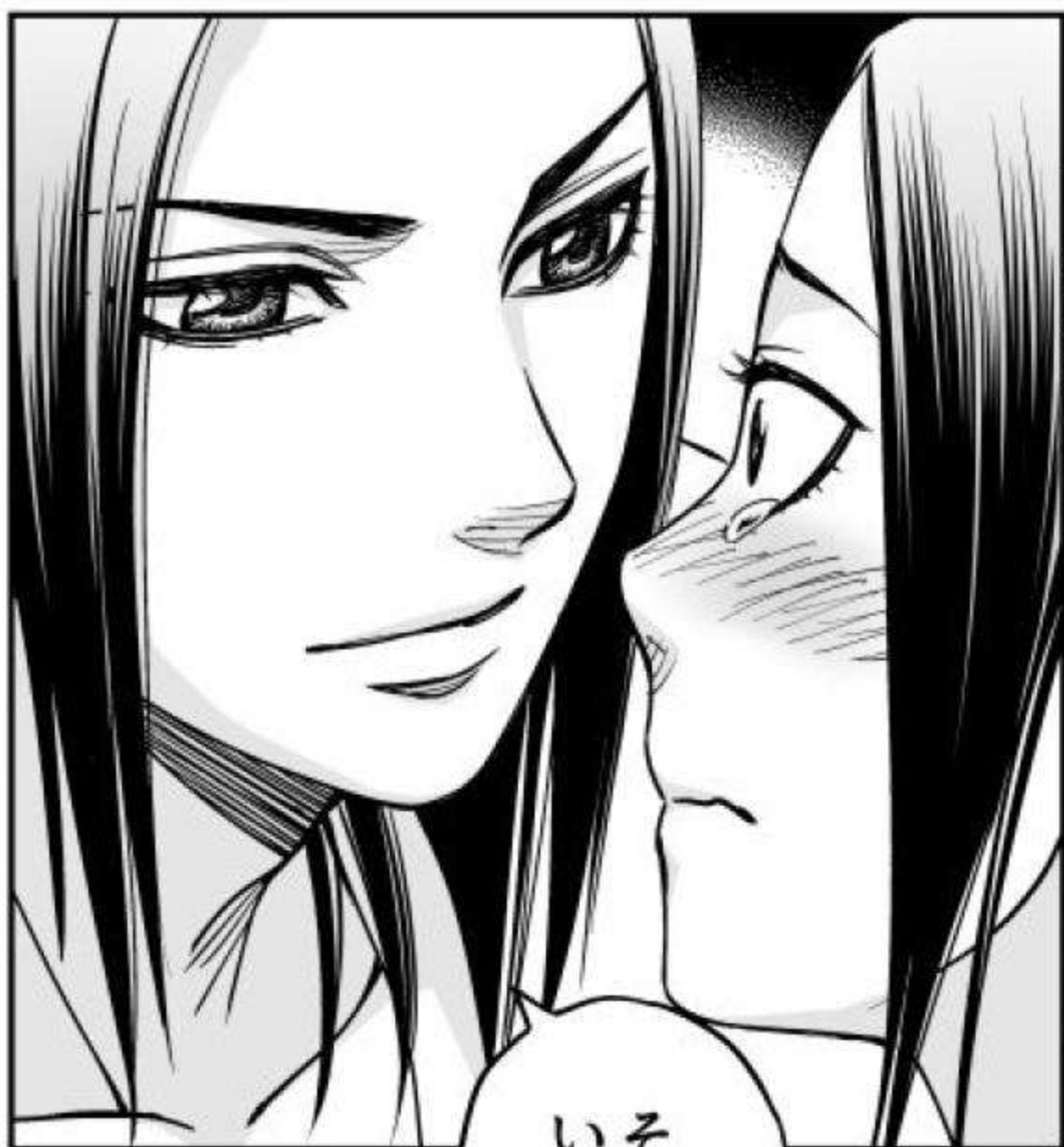




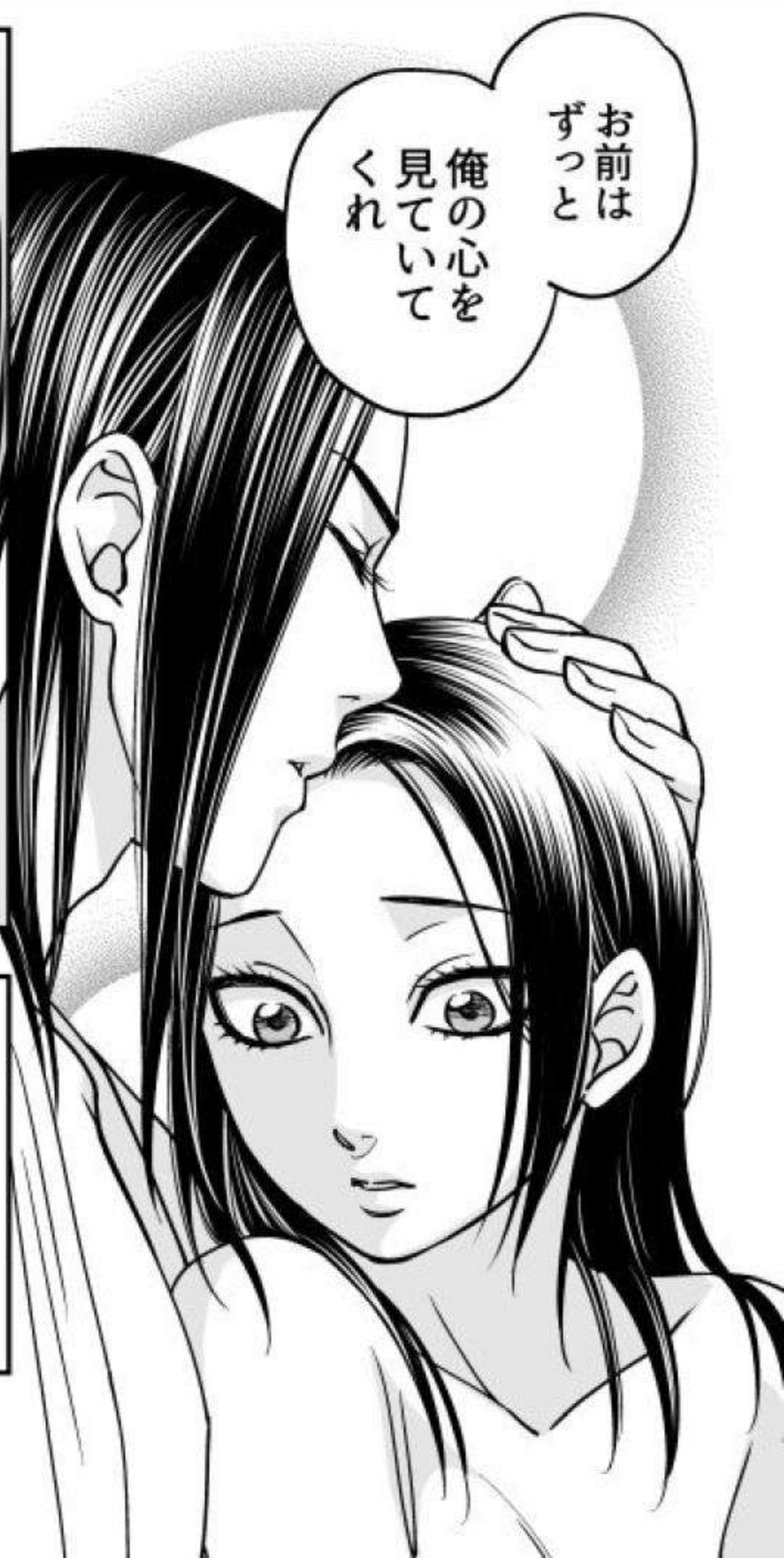
ならば
この先も



じん



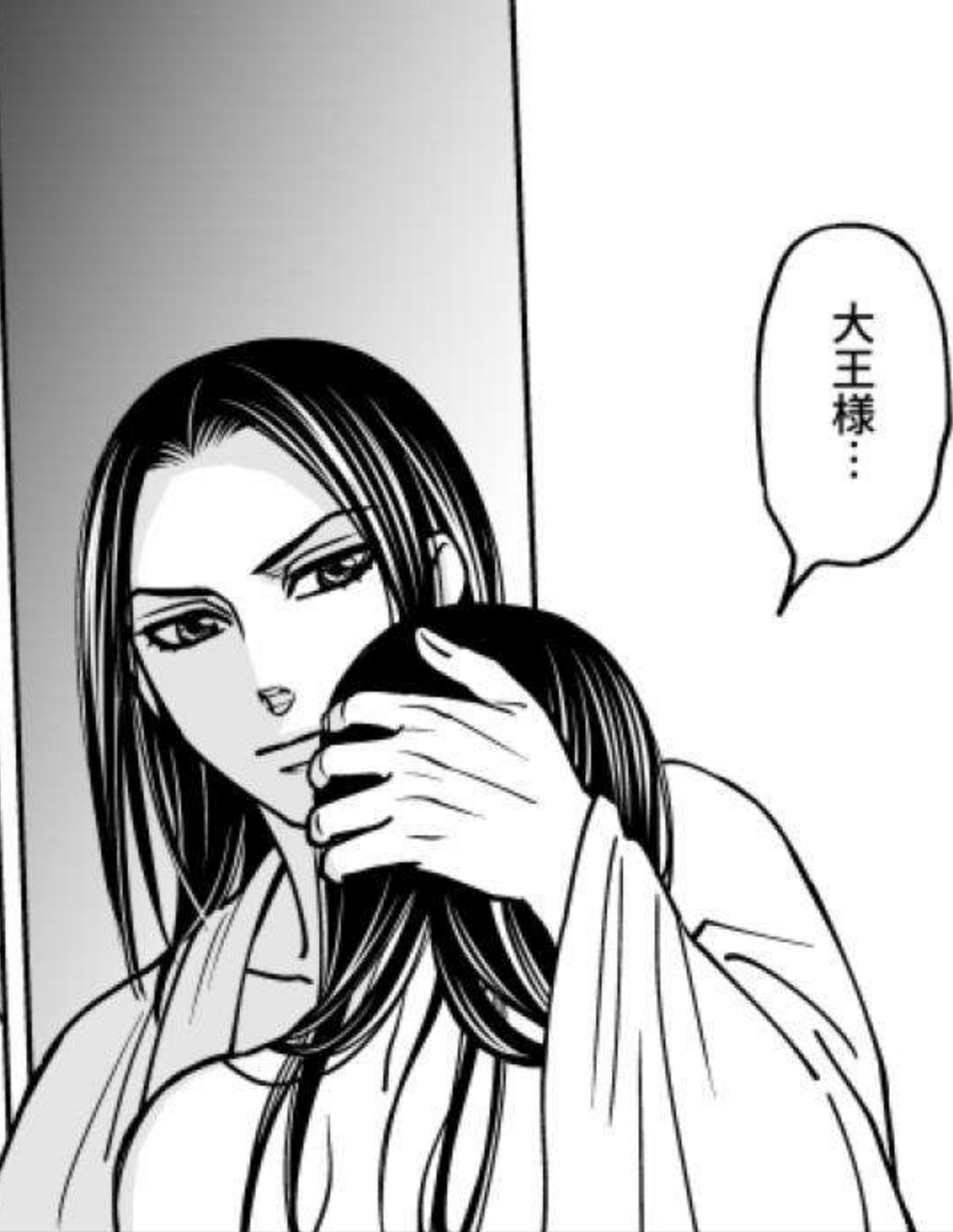
それで
いい



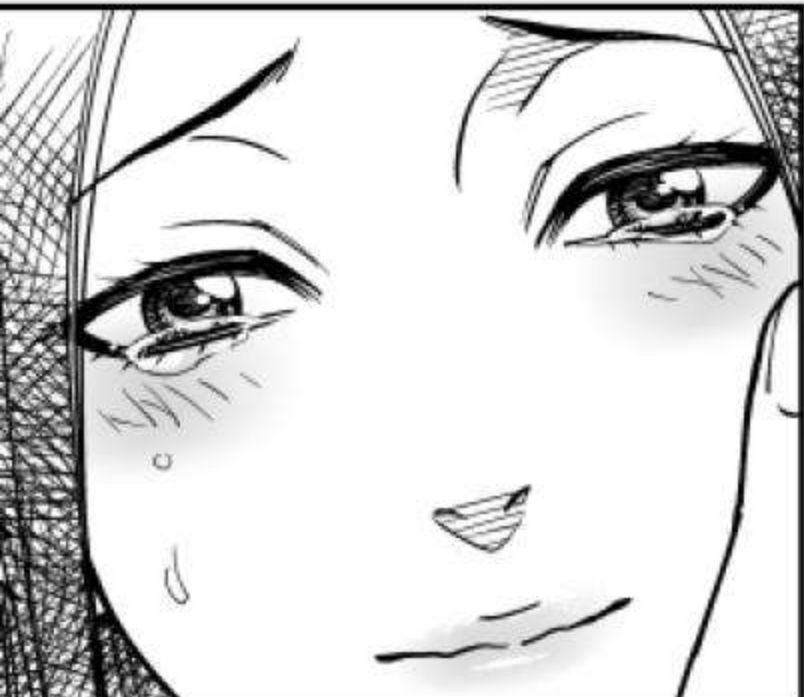
お前は
ずっと
俺の心を
見ていて
くれ



これから先
向はずつと
このことを
ひっそりと
気に病んで
いくのだろう



大王様…



おそろく
そうやって
これからも

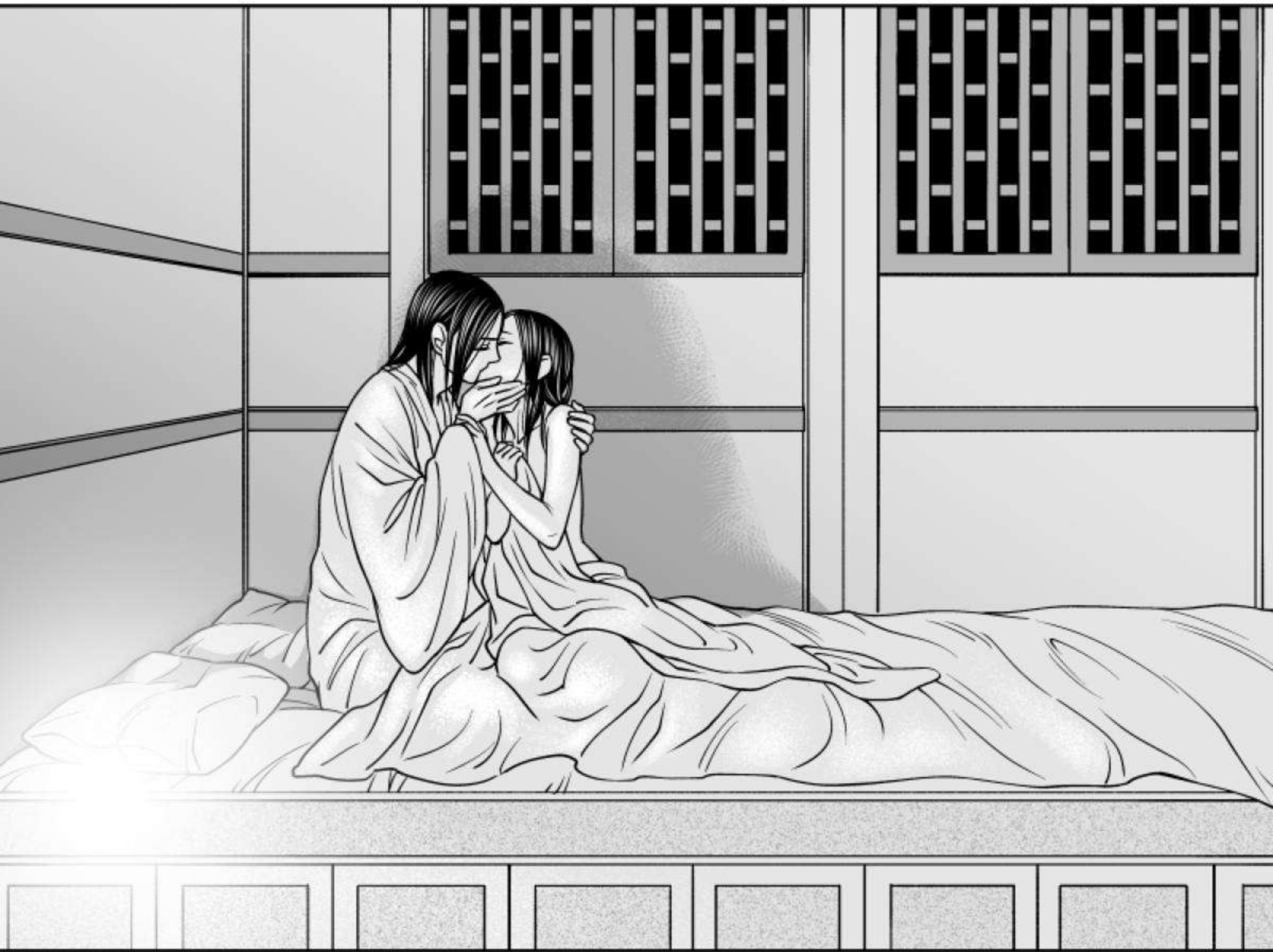
お前は
俺の心を選び
続けるのだろう

例え己が
心痛もうとも



許せ





俺は
それが
嬉しいのだ

そんなワケで40巻に収録された435～437話から少し経った頃の、とある夜妄想です。
大王様は向ちゃんに隠し子ちゃん達こっそり助けたこと話したのかな？それとも話さなかったのかな？
極秘事項ゆえに話してないほうが王様の判断としては自然な気がするけど、その場合向ちゃんは
結果的に隠し子ちゃん達の処刑を支持したってことは流石に気にするんじゃないかな～と、
そんな方向で思いついたあれこれです。
原作で今後「実は大王様から聞いて知ってた」って出たら所詮妄想と流してください。

好きな人の子供を産んだ向ちゃんが、好きでもない男の子を産んだことで女としても辛酸嘗め尽くした
太后様に物申すという、人によっては癪に障る部分も何やらあったらしい一連のエピソードですが、
「おこがましい」と向ちゃん自身も言っていたように、自分が恵まれた側の人間であることは充分理解
していたのではと思います。
それでも「政という個人」を愛する者としては、□ウアイとの間に出来た二人の子だけを「私の全て」と
言い、逆上のあまりとはいえ、もう一人の我が子であるはずの大王様の存在を根こそぎ否定する
ような太后様の言葉を、何も言わずに飲み込むことは出来なかったのだろうと受け取っております。
あっ、私が向ちゃん好きだからっていう鼻屑目も自覚はしとります。

個人的に「幸せな人間が不幸な人間に説教するのはなんだかな～」みたいなのは
「幸せなんだから何を言われても見ても黙っとけ」ってことになってしまうので、それはそれで
不幸ぶちかましたもん勝ちで理不尽なんじゃないかしらと。
苦しみを知らないことへの後ろめたさ振り切って声を張り上げるのだって勇気がいるさ。

ほんでも言ってしまったことに対してしばらくは向ちゃんモヤモヤしてるかもな～。
大王様は大王様で、隠し子救済黙ってること(仮定)に後ろめたさがあるかもな～。
そんなお互いうっそりとした心を引きずりつつ過ごす夜があったかもしれないな～。などと。
だけでも自分は向ちゃんに隠し事しても、向ちゃんには隠し事させない大王様っていう妄想。
大王様は向ちゃんが最終的に太后様の心より自分の心を慮るほうを選んだことを、
やっぱり嬉しく思ったのではないかと思います。
それは私的にちょっと綺麗なだけの喜びではないような気がします。

とまあ、あれこれ理由つけても結局□なんですけどネ～！！
幸せなだけのおめでたいカップルって訳でもないですよネ～と、そっと力説したかった…。
そして□いこともさせたかった…。両方描けたから私は満足です。
でも次に機会があったら今度はもっとライトなアホ□描きたいです。疲れた。

塗り絵。
うそ～、仕上げる時間
なかったでござす。



あとがき

そんなわけで、この度は本をお手に取っていただき有難うございました。
今回も危ない橋を渡っている…。ていうか当日本になってるのだろうか…。
印刷所様に大迷惑をかけております。申し訳ありません…！！！！
てゆーか眠い！！この歳になって初めて三徹しました！眠い！！
意識が朦朧としている！

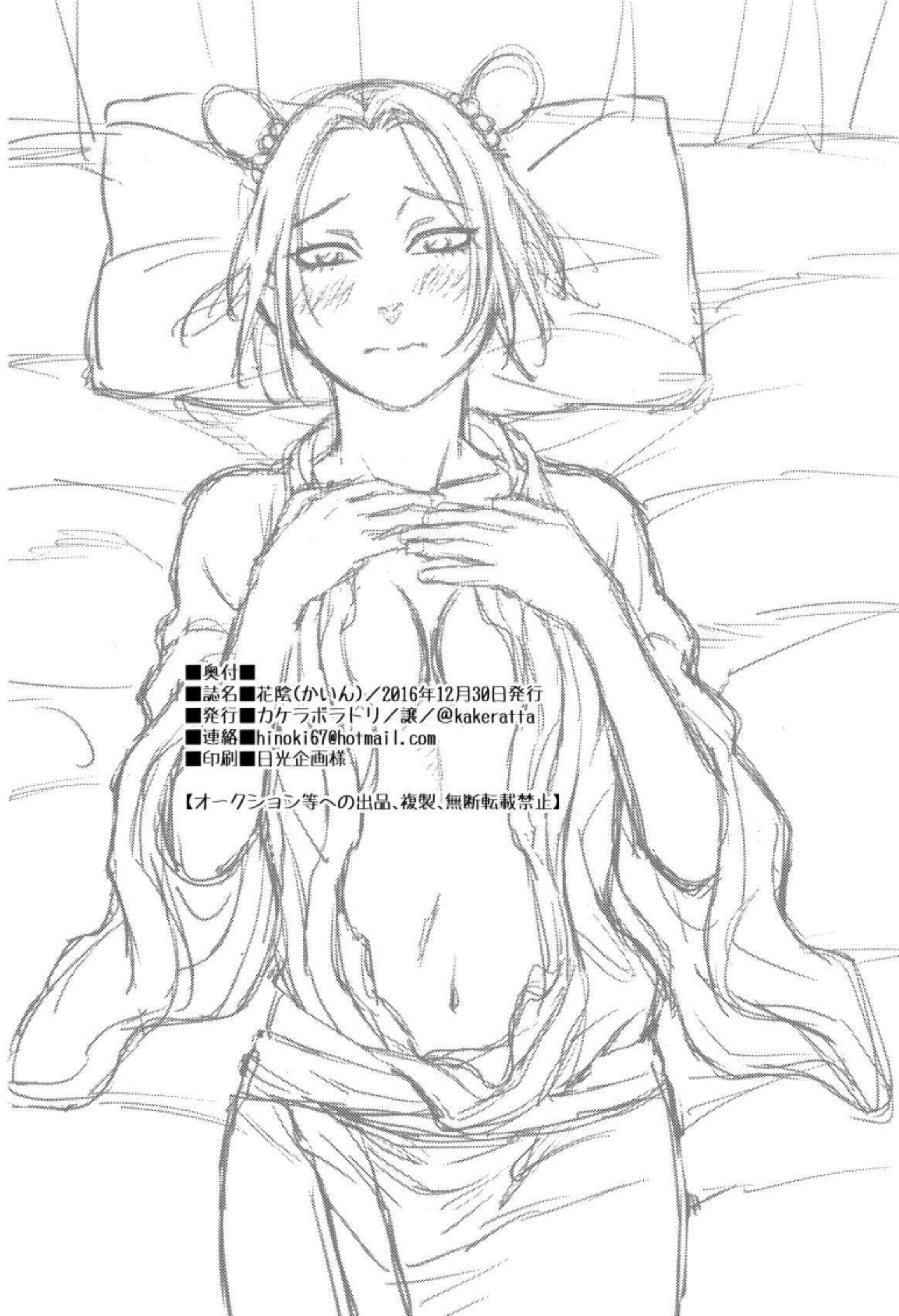
今回の漫画の取っ掛かりはトークに書いた通りなんですけど、
実際に描いてる間は終始「エロいことする必要なくね？」「局部描写
必要なくね？」とか自分に突っ込みが入ってどうにもこうにもでした。
一応自分のなかでは「それはね～」って言える？理由みたいなのは
もってるんですけど～。それはね～、もうあかん眠い。

とりあえず頑張って大王様の尻描きました！
綺麗な顔の男の尻描くの苦手なんですけど頑張りました眠い。
でも何とかコマの端に追いやって極力描かないようにしました。
向ちゃんは控えめおっぱい意識してたんですけど、思いのほか脳内イメージ
より大き目になったかも。あれだ、大王様のお手のちからですきっと。

一応シリアス漫画のあとでろくでもないあとがき申し訳ありません。
言いたいことは前もってトークで書いておいたので、こちらはほんと
こうなることは読んでました。

ともあれ、少しでも楽しんで(?)いただければさいわいにございます。

2016122× 恐ろしい日付です…



■奥付■
■誌名■花陰(かいん) / 2016年12月30日発行
■発行■カケラボラドリ / 譲 / @kakeratta
■連絡■hinoki67@hotmail.com
■印刷■日光企画様

【オークション等への出品、複製、無断転載禁止】



KINGDOM SEI×KOU
FAN BOOK
KAKELABORATORY